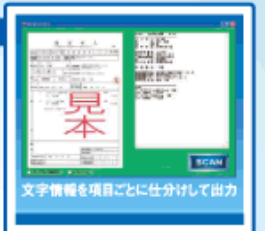


Business Partner for
21st
Century

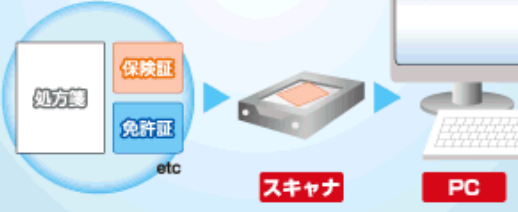
～中部パワー特集～

特徴・メリット

- 簡単・スピーディーな事務処理
- 入力ミスの削減
- 画像が残る
- 管理も簡単
- 読取テンプレートが不要
- 新種の様式にもそのまま対応



不慣れな新人オペレーターでも素早く完了



先進のOCRソフトによって医療事務処理業務を改善

東和ハイテック

**OCRが困難な被写体の文字認識に挑戦
 保険証自動認識技術を処方箋の読取りに応用**

大規模な制度改革が進むにつれ、戦略的なITの活用が求められている医療業界。患者や地域社会からの信頼に応え、厳しい生存競争を勝ち抜くために欠かせないのが、事務処理業務の省力化と自動化である。

東和ハイテック株式会社が開発したOCR（光学文字認識）ソフト「処方箋リーダー」は、これまで複雑に行われていた処方箋のデータ化に極めて高い効率性と正確性をもたらす最先端

のITソリューションとして大きな注目を集めている。愛知県名古屋市に本社を置く同社は2005年、自社開発した保険証自動認識ソフト「保険証リーダー」の販売を開始。現在までに20社を超える電子カルテやレセプト（診療報酬明細書）システムメーカーに導入され、全国の3000以上の医療機関で活用されている。

そして、この「保険証リーダー」に搭載される高度なOCRノウハウを処方箋向けに改良・開発されたのが「処方箋リーダー」なのである。従来のOCRソフトによる保険証や処方箋のデータ化は、あらかじめ登録した範囲情報を用い、テンプレートと呼ばれる項目ごとの文字の位置を読み取って、その結果を取り込むというものであった。

広がるOCR技術の可能性

「OCRのための画像処理や図形認識を行うノウハウの中で、特に実用性の高いものは公開されていないため、独自のアイデアで課題を解決した」とはOCRのプログラマでもある専務取締役の武藤康正氏。

「保険証リーダー」は、AI（人工知能）のごとく、被写体の内容を視覚的に認識・判断するため、新しいデザインの保険証が登場してもソフトの変更や登録なしに読み取りできるものになっていく。

しかし、このテンプレート方式では、操作する人間が文字情報を選択する作業に大きな手間がかかってしまうことで実用性が低下。特に数千種類の様式がある保険証の場合、全ての情



「保険証リーダー」は3300ライセンスの出荷実績を持つ



武藤 康正 専務取締役

愛知県名古屋市千種区吹上2-4-25
 (東京支社)
 東京都千代田区神田須田町1-5
 共同ビル7F
 ☎ 03-3252-1511
<http://www.towahitech.com/>